

① リュウキュウアユを知る活動

<1月の活動>

マングローブパークのリュウキュウアユの養殖技術を見学した。養殖の難しさ、多くの苦勞について知った。



② リュウキュウアユを守る活動

<河川の清掃>

役勝川のごみひろいを行った。ペットボトルや空き缶、農業用のビニルなどを集めた。



リュウキュウアユが過ごしやすい環境になった。

② リュウキュウアユを守る活動

<河川の整地作業>

リュウキュウアユは限られた場所でしか産卵しない。



たまった粘土質の赤土を洗い流すことで、産卵しやすい環境を取り戻すことができた。



③ リュウキュウアユを広める活動

<地域のイベントで発表>

これまでの先輩たちや自分たちの取組を地域の人たちに知ってもらうために、イベントに参加して取り組みを紹介してきました。

たくさんの拍手をいただき、発信することの大切さを学びました。



奄美市「食で考える環境フェスタ」



生涯学習「すみようフェア」

③ リュウキュウアユを広める活動

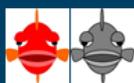
リュウキュウアユ

<問題>

クイズ

メスが卵を産むとき、オスはどこにいますか。

① メスの横にオス1匹



③ メスの横にオス2匹



② メスから少し離れている



これまでの活動の成果と課題

成果

- 毎年授業で取り組みながら、リュウキュウアユのこと、奄美の自然のことで詳しく知ることができた。
- 自分たちの食生活も、自然の中の生き物たちと深くかかわっていることが分かった。
- 「世界遺産登録」に向けて、地域の方々にもリュウキュウアユのことを知ってもらうことができた。

課題

- 児童数が少なくなり、これまでの取り組みの継続が難しくなってきた。

おわりに



リュウキュウアユを守り、広める活動を家庭や地域のみなさんと一緒に続けていきたい。